向陽新聞
発行所
高知市春野町97
土佐高等学校新聞部
編集人　信吉孝和
發行人　安部彌太郎

悩ましい入試シーズン

点数本位を排除

土佐中・二百五十名募集

入試の悩みは春とともにやってくる。今年も土佐中は土佐一中、城東中とともに新入生を募集している。募集人員は二百五十名だが志願者との面接が学課にわたってはいけないことから、その知能をためすのに、昨年度の「三段論法」以上の質問が飛び出すものとみられる。

本校への志望者が多い二小学校長は入試をまえに本紙記者を通じて本校を「点数に重きを置く」としてその改革を期望しているのに対し大嶋本校々長は「点数本位のつめこみ主義はとっていない」と述べ、独自的な教育方針を説いているのが注目される。

土佐中入学志望者を多数持っている二小学校を訪れ、校長先生に土佐中に対する希望、意見などを披瀝してもらった。

まず今年は大体十名位の志願者を有している小学校では学科主点に勉強するのではなくものと考え方、易力を実際生活に切実な問題を教育していた先生徒の血となり肉となるような新しい教育を思い切って実施し、昔のような土佐中記憶主義のコピリ〝をなるだけ排してもらいたい。それに人間の創力を助けて計算するような百点法採取には慎重を持っていっている。

去年よりも志願者の数が多い二十名を擁するB小学では「現在の土佐中生は勉強しようとしていることは認めるが心配することは暗測だがつめ込み主義におちついているように思うことだ。またあまり試験をやりすぎると思い疎味の競争意識が出はしないかと心配する。経済問題として月謝が高い。というとにやむを得ないが増額とかのためにあまり寄附を求めるのはどうかと思う。最後に大きく望むことは土佐中は私立だから思い切った教育法をとって知識的に優れた生徒を育成するより、めいめいの持ち分、特性を充分に伸ばしていって欲しいと思う。

△▼…春の日光のもと、卒業生たちは新しいコースへと向う。本校では新しい世代が始まる春は、あらゆる新しい芽がもえ出てくるときである。新しい芽に光あれ、恵みあれ！

△▼…卒業生を送るあとには、やがて可愛い新入生が、希望にみちた顔をかがやかせてやってくる。新しい校舎の十教室も、ほぼ完成し、復興のいぶきもまた力強い。

春にもえる希望

△▼…南国土佐には、もう春のいぶき。思い出深い一九五〇年度もあとわずかのきょう、晴れて卒業生たちは巣立って行く。

触災で校舎を失ってから、各地を転々としながら数授業を受けて来た苦しい経験も、今は忘れられぬ学校生活の思い出となろう。

△▼…卒業生を送るあとには、やがて可愛い新入生が、希望にみちた顔をかがやかせてやってくる。新しい校舎の十教室も、ほぼ完成し、復興のいぶきもまた力強い。

學習意欲の問題

新入生よ人格完成を

大嶋校長

市内某、二小学校の本校に対する希望に対して本校々長氏次のように回答し、加えて新入学生に対する希望を縷々のべている。

つぎこみ主義はやっていないが生徒の学習に対する意欲を高めることは奨励している。それがみ方によっては古い教育に見られるが、各部の計画的な予算編成をおりに、不合理のない予算分配が各方面から要望されている。

この年度末の予算編成をおりに、不合理のない予算分配が各方面から要望されている。

門脇君約束どおり首位を

土佐高校第一回卒業生、門脇君は大嶋校長との約束どおり昨年二学年二学期において首位を占め関係者一同を喜ばせ今後の同君の生お一層の精進が望まれている。

同君は去年の夏休みに、校長先生あてに「必ず首位をとります。」と決意のほどを、示す手紙を送り校長はその意気に感じて全校生に発表して人々の注視の的となっていたもの。

各部の赤字を整理

望まれる「計画的運営」

各部予算の赤字増加のため、現在問題にもあり今度の措置が迫められるにいたったためである。

予算の残っている部の中には、計画的予算をもって来ている部もあるが、これらにはある程度の考慮がなされるものとみられる。

高校發足以來の黒星

中学は福島君の一人舞臺

四、任期が六カ月。

◇…何といっても始めて行われる立候補演説に人気集中。会長立候補者は福島、中田、吉松（いずれも中三）の三名で、彼ったノートに色鉛筆で「会長には熱の入〇〇君を」式の選挙ポスターがいたるところに出現。貴任者の氏名も書かれていたが、これは「部に伝えられる「選挙妨害」などとともにちまちの方法で選ばれたことが判明あわてて前学期委員会役員にたずねてみても名人名探の答。

◇…選挙の結果会長には福島清三君（二六五票）が次点の中田嘉彦君（二五五票）を僅差で破り、前学期の委員会が提案され選挙方法を再審議した結果「三学期に限り、今まで委員になった者でも再び委員になることはさしつかえない」と再び決議。委員を改めて選挙をすることに決定。

◇…前学期委員会の手落ちにより二度目に成立した委員会（委員長細木大麓等）もすこぶる不活発のようす。やがて三学期も幕を閉じる。

三学期の委員選挙方法が記録されてゐないが、これは「部に伝えられる「選挙妨害」などとともに「中学生の選挙さわぎ」の個人的な事件が起きた。以下は生徒会担当記者のメモから。

学中一◇…三学期になって会の改正に伴って会則の一部を改正するために委員選挙はしばらくおあずけにし準備委員会を開いて会則の原案を作った。（賛Ⅱ五八九、否Ⅱ二八。中立、無権Ⅱ七〇）これまでは、福島君を「会長にふさわしい人物を」という選挙方法から出発。

高一◇…一月二十日、委員長（杉本哲一郎君）が辞意を表明。

◇…前学期委員会が提案した改革的な会則を制定したことに敬意を表し二度目に成立した委員会（委員長細木大麓等）もすこぶる不活発のようす。やがて三学期も幕を閉じる。

（IOU）

衰えぬ東大志望

巣立ちゆく高三生

例年のことながら卒業生には最大の難関たる大学入試がひかえている。最近もっとも期待をかけられている本年度卒業生の行き先についてざっくりつてみよう。

概算すると高知大十四名の多いのが目につく。また去年と同じくあい変らず大阪大が多く、十二名とつづきそれに東大十七、早稲田大が七名である。内わけは次の通り

高知（十四）大阪（十二）東京（十）京都（八）早稲田（七）神戸（七）一ツ橋（四）岡山（三）商船（三）神戸商（二）名古屋、神戸外語、鳴気通信大塵応大、長崎大、広島大（各一名）就職八名。

學生野球に徹せよ

父兄の明朗な後援を要望

内容はつぎのようなものとみられる。

一、監督の不在際から一時的せよ野球部を解散し各方面に感謝の鉄則、甲子園をめざして再び練習に全力を傾注すること。

二、野球が他のスポーツと違い物理学的なものと生物学的な原理を多分に含んでいるので球もてあそぶというようでは駄目である。研究的態度を持ち、あくまでも生野球に徹しなくてはならぬ。

三、父兄の方々の協力はまことに結構だが、熱心のあまり干渉の域にまで入っていただいては困る。

四、野球部の再出発に当り、各方面の誤解にもまさる理解、援助をまちわびたい。

〝〝〝〝〝〝力づよい第一歩を〟〟〟〟〟〟

三位一體で再出發

野球部問題の解決について学校・父兄側はこれまでたびたび協議を続けて来たが、去る二十二日（木曜）には父兄、選手が集い、濁瀦監督も出席して野球部新発足について種々懇談した。この会合により、学校・選手・父兄の間には従来完全に了解が成立し、力づよい新発足の第一歩をふみ出すことになった。

甲子園めざして力強く

野球部問題、犠牲者なく解決

次に本校を混乱して来られる新入生諸君を迎えるにあたり、本校が他の県下の公立校はもとより私立学校とも競を異にして県下唯一の職業校であるのに特に期待しているのは非常な責任を感ずる。さぞかし入学後は種々と不自由なこともあろうが本校の目標の一つである人格の完成と責任の自覚はもとより学習態度においては他の過剰をゆるさぬだけの覚悟を持って欲しい。しかも最後第一とい競争をもって天命をまつとうし、よりよい社会人となるようにしていただきたい。

生徒會の低調を乗切る！

小津高で縣下高校生徒會代表の協議會

長もその途中貴物雪みをさげた姿でヒョコリ顔を見せられた。年前には小津高のホーム・ルーム、生徒会代表の「生徒会活動について」についての討議が行われ

一、生徒の関心がうすく低調になってくると役員に負担がかかる。

二、この打開策としては、もっとも身近なホーム・ルームからためてゆくべきである。

三、低調をきわめた生徒会にミリョクを持たせようとする議長の努力は並たいていのものでなかった。議員手帳を作ったり、アルバイト書記を置いたり「生徒会会報」を発行して家庭との連絡をとろうとしたが、深刻に考えられたのは議員の自覚ということである。

▽…痛感されるのは生徒の生徒会に対する根本的認識が不足していることだ。このためにも、やはりまず「生徒会活動校側と対立したもの」と考えがちの生徒もいた。今後は学校側とも大いに協力し生徒会を育成なものにしてゆきたい。

早く具体的計画

来年度の演藝発表会

来年度の演藝発表会の具体的な計画が早く決定されているーそれによると演劇部として古典ものを一つ

▽…演劇部主谷村演劇部長談　今年も演劇部主催でやらせていただきたい。皆さんの協力で去年よりもっと立派なものにしたい。

新聞部員大募集

第二次「部員講習会」をおりに積極的な方の入部を待ちしておりますのでまず、現在、部室がありませんのでホーム・安部）まで御連絡下さい

土佐高校新聞部

甲子園めざして力強く

野球部問題、犠牲者なく解決

（前掲）

學生野球に徹せよ

父兄の明朗な後援を要望

（前掲）

生徒會の低調を乗切る！

小津高で縣下高校生徒會代表の協議會

（前掲）

主張

卒業生に寄す

義務教育十二年の課程を立派に終えられて前途多難な、うつそうたる人生社会の森、今までと違った新しい森へわけ入る勇気が一応ここに成り立つ皆さん方にわれわれはお祝いを申しあげなければならない。

そもそも嬰児は皮膚の色によって赤子といわれ、老人は銀髪の色によって白髪の人と称せられる。では一体皆さんは何故に青年と呼ばれるのであるか。青の字は「青雲の志」などのごとく善い意味に用いられる。かの青雲という語は春の気分によって名付けたものであろうけれども、春は草木が芽を出し、夏の繁茂と秋の収穫とを期待し、前途有為な意味を含んでいる。たかがみなさんを青年と呼ぶのも前途有為な年輩者という意味においてであろう。

実にみなさんの前途は有望である。どのような成長発展をなさるか、いかなる進歩向上をなされるかを心わかに予言することは出来ないのである。みなさんは成長発達盛んである。ゆえに元気がある。みなさん益進歩向上される。ゆえに希望がある。青年でありながら元気なく希望がないならば青年にして青年にあらずである。みなさんは何れも真爛漫である。みなさんの心は純一で偽なく、清浄潔白である。みなさんはまた人生の汚濁に染まずしかも天佑のごとき美質を持っていられる。もしみなさん待し、前途有為な意味を含んでいう。

年にして青年にあらずである。老人は過去に生き青年は未来に生きる、ということばがある。みなさんはよろしく意気を持って世に処し希望をもって進歩向上に努められたい。

青年の意気に欠けるところがあるのは現代の通弊であるように見うけられる。国家の盛衰興廃はただ青年の意気一つであるということは洋の東西を問わず古今歴史が証明しているところである。

近くは北朝鮮の動静、新の大薬を見れば瞭る。尊王王覇の思想をみとって、根強い民族を打破し、王政復古をなした先覚者の意気こそ天晴地厳の気慨が満ちている。彼等は意気に感じ激励し、奮起して、当に務むべき自己の天分を自覚した勤王家である。事の遅否はともかくとしてなくも偉大な業を成すことはできない。

青年の意気に感じ、青年の意気を重んじ、青年の意気に生きよ。」——と。

しかし元気に任せて身を傷り名誉に慎れて足を踏み、突進を事とすることがある。

社会に複雑である。誘惑物に富んでいる。しかしみなさんは青年である。青年という立派な斧を持っておられる。この斧をもち給を出して、青年という立派な斧を持っておられる。この斧をもち給をつき進んでいかれるならばいかなる艱難にあっても挫折することなく、いかなる苦難に処しても勝利の平坦な道に出られると思う。お互いの過ちを匿つて。（安部）

尊敬と理解もって

男女交際のエチケット

小津高校では、男女生徒交際の実態を調査発表し新聞紙上をにぎわしたが、過日行われた研究発表会（教委会主催）で各代表に「ホーム・ルームの実際」と題する資料を配付した。それによると「青年男女の交際のあり方」のなかでつぎのように述べている。

☆男女交際のエチケット☆

男女お互いに人格を尊重し、お互いに他をよく理解し快い感じを与えるような態度が必要である。

△服装　品位あるものを選ぶこと。例えば派つぎのある色合のものを選び清潔で折目正しいものを選ぶこと。

△言葉　身につけること。

△交通　自己の意志を明瞭に述べて目的を充分果せるように心がけ、お互の立場を充分わきまえよく内容を吟味すること。調子、乱暴、不体裁、表現方法などに注意する。

△贈り物　男女の間では軽々しく贈物をすべきではない。特定の異性に対して私的な贈物をすることはしてはならない。

△訪問　①先方の都合をたずねた上で訪問すべきである。急用の場合はなるべく早朝、深夜、食事時をさける。②先方の事情、用件などを考慮し座席などともかくとしてなくも偉大な業を成すことはできない。

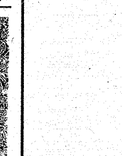
青年の意気に感じ、青年の意気を重んじ、青年の意気に生きよ。」——と。

しかし元気に任せて身を傷り名誉に慎れて足を踏み、突進を事とすることがある。

社会に複雑である。誘惑物に富んでいる。しかしみなさんは青年である。青年という立派な斧を持っておられる。この斧をもち給を出して、青年という立派な斧を持っておられる。この斧をもち給をつき進んでいかれるならばいかなる艱難にあっても挫折することなく、いかなる苦難に処しても勝利の平坦な道に出られると思う。お互いの過ちを匿つて。（安部）

先輩訪問記

高知縣農林部長　細木志雄氏（二回生）



「剛直ではた任侠時代右に出るものがなかったし、富裕振にもよく飛び出ていったよ。スポーツはいってですね。」と語られるだけあって「学生は勉強が好きになくてはならない。勉強といっても学科をなにもかも先生のいうとおりにやれというのではない。勉強することに生き甲斐を見つけてやることだ。」終始笑を絶かべての御託宣、折り親密である。

土佐中時代の思い出というたら三根校長が怖かったことですね。校長は負けず嫌いだったから対抗試合なんかやらなかったのは、ちょっと淋しかった特殊なプライドを持っていたからプラスマイナス零だ。

細木氏談。

各部の赤字を整理

望まれる「計画的運営」

（前掲）

高校發足以來の黒星

中学は福島君の一人舞臺

（前掲）

生徒會の低調を乗切る！

小津高で縣下高校生徒會代表の協議會

（前掲）

落書

卒業期がやって来た。せちがらい現今の世にあって、学窓にこと欠くことなく、学科の単位もとれて無事卒業の出来ることはとにかくおめでとうである▼「蛍の光」を歌うと、もうみんなが散り散りに別れて行ってしまうような気がして、何だか心さみしい。そこでというわけでもあるまいが、サイン・ブックへいろいろと記念のサインを頼まれる▼サイン・ブックを開いてみて面白いと思うのは、生徒各自の署名だ。何だかこう、もったいぶって書かれてあるのが多い。「僕のサインは将来すい分価が出るよ」というのは、あながち冗談ばかりではあるまいと思われ◎▼何年かの後にサイン・ブックを開いて「ううん、こいつはこの間××会社をクビになったよ」などんでいわれぬようにしたい。「これがかの有名な○○氏で僕の後輩だ」とか「先輩だ」とかいわれるのに越したことはない。先輩、後輩に花をもたせることは母校に花をもたせることと▼「母校が平々凡々たる」私立中学、高等学校と堕するようならば、私は土佐中の名誉のために、むしろ廃校となることを願む。地下の川崎、宇田の両先生もおそらく同意を示されることと思う」と第二回生の細木志雄氏は述べている（「籠山」第四号）▼われわれ卒業生は断じて土佐中を廃校にしてはならぬ。サインに値を出さねばならぬ。奮発奨励、有為の人物にならなくてはならぬ。

（岩谷清水）

先輩訪問記

高知縣農林部長　細木志雄氏（二回生）

（前掲）

社會科教育の研究會を

本校が計画・四国の先生集めて

一昨き道徳教育、社会科教育の完璧化を計ろうという考えが校長先生にあり適期的な動きとして注目されている具体化されるのはまだ先のことだと見られている。

選ばれて中央で西先生

鎮近く個展もひらくか

鎮西先生のご作品が東京で開かれている「日本水彩連盟展」に入選した。かねて作品の批評を求めるため数点を送っていたものの中から選ばれたもの。

同先生は二十二日に上京、十日間ほど各地で開かれている展覧会を見学の予定で帰って来てから個人展を開く予定。

正岡先生もう一年間東大で仏文学専攻中の正岡先生はさらにもう一年間、同大学で学ばれることになった。

メガネ専業
イリキ眼鏡店
高知ハリマヤ町 電話998番

ペンならおなじみの
白亞堂
新型製品續々入荷
帯屋町東宝劇場前
JEL 2743

福壽賞10万圓
一口壹千圓　六ヶ月
第六回
福壽定期預金
一等賞1萬圓以下空くじなし

あなたも私も
四銀の
福壽定期預金!!
預金は信用ある
四國銀行へ
株式会社
四國銀行

一九五〇年スポーツ回顧

初の縣外遠征へ
偉いぞ籠球、野球部

一九五〇年における野球、籠球部は本校スポーツの歴史に多大一頁を飾った。まず不断の練習に実を結び徳島遠征と先ず土佐の野球界の屈指チームと成った野球部の勝ぎを願みると、八月以降県、各チームが新入チームに成ってから一九勝五敗と好成績をあげ、強豪のみを相手に対戦しては六勝二敗。県外チームに対しては三勝二敗の戦果をあげているのは立派なことで、これからへの期待が大きい。

偉業といえば、やはり夏の甲子園を目指す高知予選に強豪追手前、丸の内を軍門に下し、南四国予選に初の県外選征をやったことだ。十月の県体においては熾烈実に十六回裏敵小津を下しつつくダブルヘツダーの優勝戦に汗強豪市商を下したわが野球部の前途は希望あるものと見られている。もう一つ土佐高スポーツ史に異彩を放った籠球部一九五〇年の活動も賞讃に値する。県下高校体育大会に県下のいまのところ大。

雄高知農、追手前に連二ゴールと追い迫り相手をして心胆寒からしめて、各方面からの嘱目大なるものがある。

その期待に応えてか年末の西日本バスケツトボール選手権大会東予選には他校を一蹴し、一躍県代表として鳥取の地を踏んだ。彼地では絶戦に限木斉々裏に顔を合わし五ゴールの差をつけられ敗れ去ったが期待はむしろこれからにあると。鳥取選征前の谷部長の言通り「高いバスケツトボール・レベル史に異彩を放った籠球部一この頃は他校試合にも負け戦さはいまのところ大。

本校生物部のホープ中田齋彦君（中三）は我国でもすばらしい大昆虫由（オオクワクムシ）を採集し注目された。この世界的珍種採集の裏には同君の熱心さを物語るつぎのような逸話がある——。ある日のこと中田君は商店町を歩いているうち、とある店先にめずらしい採集網があるのを見つけた〝めずらしい網ですネ〟と店の主人に話しかけたのが始まり可頭味をもつ採集に話が花ずみ店の主人とすっかり懇意になり、

スキーの思い出

山岳菊花

県山岳連盟（山荒し会）は冬山へも少しばと県スキー連盟の協力を得て一九五一年最初の登山をスキーに選びました。

昭和二十六年一月三日。まだ松の内風景気分に酔っている頃、県下の若人たち、土佐第一、高知農、市商……本校からは僕一人……市内各高校にスキーのコーチとしてスキー連盟から二人、それに山岳連盟の大将たち。正月とはいえ、天候は小春びより正月気分は出ないというが、われくもまた行って雪がとけていたら出なおしかと心配でまらない。

車窓にうつる山姿は南国土佐だけあって枯れ落ちたさむ〳〵しい感じはない。だが汽車が進むにつれて温度はさがり急に寒くなった感じがしはじめる。だがやがて車窓の所々に白い綿をかぶせたような。どこを見ても食事には困らないよ。

いよ〳〵汽んだ。足にしっかとゆわえ附け、杖を持つた。杖を後方へつく。五、六町も進まないうちにシリモチをペタン。また立上つてシリモチをペタン。そうだ体重が後すぎるんだ。今度は足をふめて体重をうんと前にかける。あつ、どうしよう、と思う間に水泳のシユウピンだ。また立上る。今度はシリモチ。あつ今度はスンピン。時には頭をつつこんで雪だるま、また時には松の木に衝突。然わからない。朝日が白肌に反射して、ただ「絶景かな〳〵」の感に打たれる。山の朝はすばらしい。スキー小屋についたのは昼前。そこで荷物をおいてスキーをかり昼食をすまして、いよ〳〵スキー場へ、素人はスキーをかたいで山頂まで登らねばならぬ。スキ味いこと。他の人には味わえないたのしさだ。

明けて四日すばらしき正天気、昨夜酔つたのか新雪があたりをおおい、昨日登つて来た道なんか全然わからない。朝日が白肌に反射して、ただ「絶景かな〳〵」の感に打たれる。山の朝はすばらしい。スキー小屋についたのは昼前。そこで荷物をおいてスキーをかり昼食をすまして、いよ〳〵スキー場へ、素人はスキーをかたいで山頂まで登らねばならぬ。スキ味いこと。他の人には味わえないたのしさだ。名士たちは気持ち良く初山だ。名士たちは気持ち良く初ながら帰つて行くのにくやしくも重いスキーを肩に、打つた腰をさすりながら小屋につく。夕食の美味しさだ。夕食後つかれてのでなく自河夜舟のごとくくだ。

明けて五日。今日も絶好のスキー日和だ。白肌の山の背を、赤やま黄やまた白と身をつつんだ若人がころんだり、とつたり、特に女子の衣服は冬山に映える花だ。昨日の練習で半数くらいは十米の直進りできるようになつた。

「おい〳〵、僕も連れてけよ。早く見ないところへ見ないかん、早よう見ろ〳〵、早よう見ろよい、つてるのに。あは…」

だが、女子は服が重いせいもあろうが、なか〳〵巧くならない。全員というわけではないけれど。今日は帰高の日だから昼食前に小屋をでかえる。せっかくとりかけ始めたのに、と悟いけどしかたがない。

この山での三日間、美そのものを心にとりこむまわって、巧く上れないのは考えようによつては良いこと。大学を曾こんにちまつては駄目だからね。（筆者本名は菊井已喜男＝本校卒業生）

評議員 岩井、松浦先生

私立学校法による評議員は敬員中から各井（敏頭）松浦（土佐中卒業生）の両先生が選出された。

「高校めぐり」は紙面の都合により次號は休載します。

〝知的な學校新聞を〟
全國高校新聞倫理規程

【唐津高校発】全国二千の高校新聞の自由を確保しその一律化をはかるために今夏東京で行われた全国高等学校新聞統一大会でつぎのような倫理規程が成立した。われわれは高等学校新聞は学校新聞に課せられた使命の重大なことを自覚し、これをもつとも速かに効果的に達成するため高い知的水準を持つことを目的として、みずからの節制により「高等学校新聞倫理規程」を定め、その実践に最善を持つて努力するものである。

一、新聞の自由

高等学校新聞はプレスコードを守り各学校の校則に背かない限りであらゆる真実に関する報道、評論の自由を有す。しかしこの自由の行使に当つては良識にもとずく慎重な判断を必要とす。（以下略）

【註】前記の全国高校新聞統一結成大会開催中に、本校新聞部の伊藤賀、岩谷両副部が東大で開かれた「学校新聞指導者講習会」出席のため上京していたが都合により統一結成大会には参加出来なかつたもの。

ならぬほどの標本がギツシリと並び全国的にのずらしいものもたくさん持つているという少年採集家である。

〝脫〟常習犯、大驚慌

エンマ帳に〝脳〟記号出現！エンマ帳の出席簿が〝欠〟遅りだけと思つたらちがい。Y先生のエンマ帳には先頭から〝脳〟記号が現われ授業中の脱出？常習犯をもじみ上らせている。

冬山に咲く若人の花
飛込みシリモチの連續

美味しさだ。夕食後つかれてのでなく自河夜舟のごとくくだ。

明けて五日。今日も絶好のスキー日和だ。白肌の山の背を、赤やま黄やまた白と身をつつんだ若人がころんだり、とつたり、特に女子の衣服は冬山に映える花だ。昨日の練習で半数くらいは十米の直進りできるようになつた。

「おい〳〵、僕も連れてけよ。早く見ないところへ見ないかん、早よう見ろ〳〵、早よう見ろよい、つてるのに。あは…」

だが、女子は服が重いせいもあろうが、なか〳〵巧くならない。全員というわけではないけれど。今日は帰高の日だから昼食前に小屋をでかえる。せっかくとりかけ始めたのに、と悟いけどしかたがない。

この山での三日間、美そのものを心にとりこむまわって、巧く上れないのは考えようによつては良いこと。大学を曾こんにちまつては駄目だからね。（筆者本名は菊井已喜男＝本校卒業生）

評議員 岩井、松浦先生

私立学校法による評議員は敬員中から各井（敏頭）松浦（土佐中卒業生）の両先生が選出された。

「高校めぐり」は紙面の都合により次號は休載します。

日本現代美術展を觀て

市中央公民館で催されていた文部省主催の「日本現代美術展」を見ての中学生の感想を中優秀作品をここに選んでみた。

大規模さに感嘆 大庭規子

私が今までに見た展覧会と比べて、非常に大規模なものであつただけに、好ましい感じがしないかもしれないが、くすんだ色の花などが暖い色や、溢れるばかりの月光が、柔かく画面にこじんまりと調和されていたり、いかにも田舎の春らしい、のどかな雰囲気です。

②午島慶之の「樹」

過ましい骨格の中にも、何かしら静かな、本当に大樹の持つ神秘性というものを、ほの暖かく感じ手色が好きでした。

③富田温一郎の「炉邊」

炉辺もどこか良い、悪い、とは、はつきりといえないけれど、くすんだ色調の渋面の絵の上の表情が、そして暗い色が、何となく「しぶい」感じられました。

①小堀鎮の水彩画「春」

緋色の苔の花などが暖い色や、溢れるばかりの月光が、柔かく画面に、こじんまりと調和されていたり、いかにも田舎の春らしい、のどかな雰囲気です。

②午島慶之の「樹」

過ましい骨格の中にも、何かしら静かな、本当に大樹の持つ神秘性というものを、ほの暖かく感じ手色が好きでした。

③富田温一郎の「炉邊」

炉辺もどこが良い、悪い、とは、はつきりといえないけれど、くすんだ色調の渋面の絵の上の表情が、そして暗い色が、何となく「しぶい」感じられました。

大規模さに感嘆 大庭規子

私が今までに見た展覧会と比べて、非常に大規模なものであつただけに、好ましい感じがしないかもしれないが、くすんだ色の花などが暖い色や、溢れるばかりの月光が、柔かく画面に、こじんまりと調和されていたり、いかにも田舎の春らしい、のどかな雰囲気です。

②午島慶之の「樹」

過ましい骨格の中にも、何かしら静かな、本当に大樹の持つ神秘性というものを、ほの暖かく感じ手色が好きでした。

③富田温一郎の「炉邊」

炉辺もどこが良い、悪い、とは、はつきりといえないけれど、くすんだ色調の渋面の絵の上の表情が、そして暗い色が、何となく「しぶい」感じられました。

美術に對する眼を開く

大脇順和

今回の美術展は日本画、洋画、彫塑、美術工芸、書道の各部門にわたる総合美術の内容とい、日本現代美術の概要を把握し得た。この意義ある美術展は私の美術に対する眼を開く機縁を与えてくれた。

洋画について　洋画の歴史に旧第一に石井柏亭先生の「村女小酌」と田村先生の「鶏舞」、常井溶けうしい感じのする「雪の白馬嶽」も解られないまゝ、好きなものゝ一つでした。まだ〳〵私の好きなものは、沢山ありますが、私のかしい頭で、じつと考えてみると、「メデアの巣」には、何か下品なものを感じ、高野三三男の「女」は一見すると、とても綺麗ではあるが、何か奥深いものがなく、安つぽいものを感じたように思いました。——×—×—

各々の個性が、はつきりと表われて、真似することの出来ない力強いものが、画の中に溜んでいるということを、ぼんやりと感じました。

なお日本画で好きだつたものに松林桂月の「夕顔」、からみ合つた茎、くちかけた蕾、蕾。洋画では見られないような、清いすきりとした美しさが……。また「新雪」も、本当に寂しい、静かな感じで、じつと見ていると、心の底まで清められるようでした。本当の静寂つてあんなものではないかしら。（中二）

美術に對する眼を開く

大脇順和

今回の美術展は日本画、洋画、彫塑、美術工芸、書道の各部門にわたる総合美術の内容とい、日本現代美術の概要を把握し得た。この意義ある美術展は私の美術に対する眼を開く機縁を与えてくれた。

洋画について　洋画の歴史に旧第一に石井柏亭先生の「村女小酌」と田村先生の「鶏舞」、常井溶けうしい感じのする「雪の白馬嶽」も解られないまゝ、好きなものゝ一つでした。まだ〳〵私の好きなものは、沢山ありますが、私のかしい頭で、じつと考えてみると、「メデアの巣」には、何か下品なものを感じ、高野三三男の「女」は一見すると、とても綺麗ではあるが、何か奥深いものがなく、安つぽいものを感じたように思いました。——×—×—

各々の個性が、はつきりと表われて、真似することの出来ない力強いものが、画の中に溜んでいるということを、ぼんやりと感じました。

なお日本画で好きだつたものに松林桂月の「夕顔」、からみ合つた茎、くちかけた蕾、蕾。洋画では見られないような、清いすきりとした美しさが……。また「新雪」も、本当に寂しい、静かな感じで、じつと見ていると、心の底まで清められるようでした。本当の静寂つてあんなものではないかしら。（中二）

中央とのたへたりを痛感

竹内靖雄

前々から、「前衛的なものを楽しみにしていた私は、大分あてがはづれた。好きな絵が余り無い。尤も、本当に個性を共鳴させる芸術というものは、そうざらにはないのが当り前だ。しかし、じつと食い入るようにして見つめずにはいられないものが少なかつた。私の主観に溺け込む作品が少なかつた。それに何も、作品の良い悪いを決定するめやすではない。むしろ、地方と中央とのへだたりをまざまざと見せつけて呉れたようえ生きた表情を画面からのぞかせ好き嫌と、立派な絵とは別のものである。

×××

少々なれは悪い代りに、強烈な味と言いのある作品を私を好む。繊細な、優雅な、古風な、絶しまつては駄目だからね。（筆者本名は菊井已喜男＝本校卒業生）

中央とのたへたりを痛感

竹内靖雄

前々から、「前衛的なものを楽しみにしていた私は、大分あてがはづれた。好きな絵が余り無い。尤も、本当に個性を共鳴させる芸術というものは、そうざらにはないのが当り前だ。しかし、じつと食い入るようにして見つめずにはいられないものが少なかつた。私の主観に溺け込む作品が少なかつた。それに何も、作品の良い悪いを決定するめやすではない。むしろ、地方と中央とのへだたりをまざまざと見せつけて呉れたようえ生きた表情を画面からのぞかせ好き嫌と、立派な絵とは別のものである。

×××

少々なれは悪い代りに、強烈な味と言いのある作品を私を好む。繊細な、優雅な、古風な、絶しまつては駄目だからね。（筆者本名は菊井已喜男＝本校卒業生）

〝知的な學校新聞を〟
全國高校新聞倫理規程

【唐津高校発】全国二千の高校新聞の自由を確保しその一律化をはかるために今夏東京で行われた全国高等学校新聞統一大会でつぎのような倫理規程が成立した。われわれは高等学校新聞は学校新聞に課せられた使命の重大なことを自覚し、これをもつとも速かに効果的に達成するため高い知的水準を持つことを目的として、みずからの節制により「高等学校新聞倫理規程」を定め、その実践に最善を持つて努力するものである。

一、新聞の自由

高等学校新聞はプレスコードを守り各学校の校則に背かない限りであらゆる真実に関する報道、評論の自由を有す。しかしこの自由の行使に当つては良識にもとずく慎重な判断を必要とす。（以下略）

【註】前記の全国高校新聞統一結成大会開催中に、本校新聞部の伊藤賀、岩谷両副部が東大で開かれた「学校新聞指導者講習会」出席のため上京していたが都合により統一結成大会には参加出来なかつたもの。

ならぬほどの標本がギツシリと並び全国的にのずらしいものもたくさん持つているという少年採集家である。

〝脫〟常習犯、大驚慌

エンマ帳に〝脳〟記号出現！エンマ帳の出席簿が〝欠〟遅りだけと思つたらちがい。Y先生のエンマ帳には先頭から〝脳〟記号が現われ授業中の脱出？常習犯をもじみ上らせている。

新聞の思い出
座談会

発足以来四年、今日の新聞部になるまでは幾多の塵の功労者があつた。「三月」いよ〳〵よこの人達は巣立つことになつた。それぞその主なる人々に集つて戴いて、その当時の思い出などを語つて戴いた。

司會　では早速ですが山崎さん新聞活動に足をいれられたのはいつごろですか。

山崎　エート、確か成人の日だつたと思う。だから一月十五日ですね。私が中学二年のときからです。

司會　どういう顔ぶれでしたんですか。その当時は。

山崎　高知高校がその当時学生新聞というのを出していてそれに刺戟されて級の壁新聞としてやろうということになつて初めクラスから選ばれて新聞の仕事をやつていたんです。

西原　僕がその時最下位で当選したよ（笑声）株式で新聞事業をやろうとかなんとかいつて物凄かつたね。（笑声）

司會　設立当時の苦労話なんかありませんか。

安孫子　あんまり新聞の仕事にタッチしていなかつたので別にこれといつてありません。

山崎　まず困つたのは部屋の問題でしたね。全然部屋というものがなかつたからね。僕や美術部に関係してしたもんだから美術部室の隅の方をちよつと貸りて……といつても〝僅〟らいの場所で原稿を募集しても全然集つて来ないしまつたよ。原稿入れの箱にふたをつけられるし入口の鍵は私じ切られたりしていじめられたよ。級新聞として発足したけれどもこういう状態ではというので校長の御声がかりで学校新聞として発足するようになつた訳です。

司會　新聞の仕事をやつていてなん印象的だつたことございませんか。

安孫子　ほとんど関係していなかつたからなんだけれど、新聞を一部一部売つて一々その金をその場であつめて、ちびちび売つていたし学校からも足を抜き出して、山崎と私だけが残つた。第一号の新聞の時は僕だつたねゝほら、皇太子殿下に新聞を送ろうかなんていつたりして（笑声）果して読むだろうかなんて（笑声）

山崎　大賛成だよ（笑声）

西原　それから全国のあらゆる学校に一部ずつ見本を送つて宣伝部数を御報せ下さいなんていつたりして（笑声）むこうむこうの方が全然なかつたね（笑声）かえつて向うの学校の新聞がやつてきたりして（笑声）むこうむこうの方が立派だつたりして（笑声）

司會　取材の源なんかのエピソードといつたものはございませんでしようか。

西原　創刊当時は依頼原稿ばかりでニュースなんかなかつたね。こんな話があるよ。今どこにいるか知らんが鈴木という男が時事報から取つて来た時局ニュースをデンと二面に据えたんだよ。ところがそれが一ケ月程前に社会面を賑わしていたものだつたりしてまつたく愉快だつたよ（笑声）

山崎　募集原稿が集らなかつたので、ところどころ夫々の性格をつかんで書きはじめたのである。新入生の見たところで書いてあらしいとの条件つきであるから、材料の乏しいまゝに、今までの「職員室」を回顧して、個人個人がた紙面を埋めさせていただいた苦裏を御寛恕あれ。

私が西内先生を選んだのにはさして深いわけがあるわけではないが、たその開放的な御性格、知らぬ間にやゝ接触を深めたこと、計らずも中学二年の主任としてお世話になつたのと、偶々向い合せで職員室に席を置いたためである。先生は、

職員室

太公望
西内先生をかこたる

山下芳男

「職員室」を書けとのこと。まさに寒耳に水である。こともあろうに、本校に来て以来、まだ一年余りにしかなるも未熟な私に、しかも先生の御寵愛である太公望の御執筆であるからやむを得ず、何日までに原稿つきで書けという。大体物事にさからわぬ主義の私であるし、学校からも金を御促されて非常に苦しかつたことが印象に残つています。

西原　第一に私が新聞に関係したのは新聞委員として最下位に当選したのがきつかけでした。みんなが新聞事業から足を抜き出して、山崎と私だけが残つた。第一号の新聞の時は僕だつたねゝほら、皇太子殿下に新聞を送ろうかなんていつたりして（笑声）果して読むだろうかなんて（笑声）

山崎　大賛成だよ（笑声）

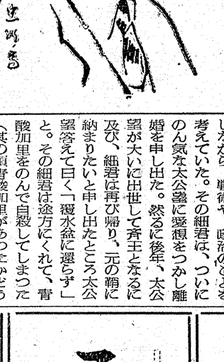
西原　それから全国のあらゆる学校に一部ずつ見本を送つて宣伝部数を御報せ下さいなんていつたりして（笑声）むこうむこうの方が全然なかつたね（笑声）かえつて向うの学校の新聞がやつてきたりして（笑声）むこうむこうの方が立派だつたりして（笑声）

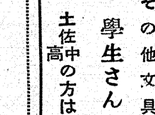
司會　取材の源なんかのエピソードといつたものはございませんでしようか。

西原　創刊当時は依頼原稿ばかりでニュースなんかなかつたね。こんな話があるよ。今どこにいるか知らんが鈴木という男が時事報から取つて来た時局ニュースをデンと二面に据えたんだよ。ところがそれが一ケ月程前に社会面を賑わしていたものだつたりしてまつたく愉快だつたよ（笑声）

山崎　募集原稿が集らなかつたので、ところどころ夫々の性格をつかんで書きはじめたのである。新入生の見たところで書いてあらしいとの条件つきであるから、材料の乏しいまゝに、今までの「職員室」を回顧して、個人個人がた紙面を埋めさせていただいた苦裏を御寛恕あれ。

私が西内先生を選んだのにはさして深いわけがあるわけではないが、たその開放的な御性格、知らぬ間にやゝ接触を深めたこと、計らずも中学二年の主任としてお世話になつたのと、偶々向い合せで職員室に席を置いたためである。先生は、





皇太子殿下へ寄贈？
夢多かつた創刊當時

中はいつもスッカラカンだつたよ。今は女子は活動しているの？

西原　たいに活動してますよ。編集方面でね、文才がありますからね。

司會　現在までの新聞の発展の跡を見て——。

山崎　昔よりよくなつてることは確かだね。好きな者がやつてるからよくなるよね。

吉味　冗談じやない。

司會　新聞を出したときのみんなの影響はどうでしたか。

安孫子　第一号の時なんか生徒はもんだん読まなかつたね、影響は全然なかつた。新聞部の金庫はいつも鍵をかけて厳重にかつていてもらつて新聞らしくなつたね。二号からは高知印刷所で印刷してもらつて新聞らしくなつたね。

西原　創刊当時は依頼原稿ばかりでニュースなんかなかつたね。こんな話があるよ。今どこにいるか知らんが鈴木という男が時事報から取つて来た時局ニュースをデンと二面に据えたんだよ。ところがそれが一ケ月程前に社会面を賑わしていたものだつたりしてまつたく愉快だつたよ（笑声）

山崎　募集原稿が集らなかつたので、ところどころ夫々の性格をつかんで書きはじめたのである。新入生の見たところで書いてあらしいとの条件つきであるから、材料の乏しいまゝに、今までの「職員室」を回顧して、個人個人がた紙面を埋めさせていただいた苦裏を御寛恕あれ。

私が西内先生を選んだのにはさして深いわけがあるわけではないが、たその開放的な御性格、知らぬ間にやゝ接触を深めたこと、計らずも中学二年の主任としてお世話になつたのと、偶々向い合せで職員室に席を置いたためである。先生は、

みんなラジオを聞きましょう
JORK
高知市相模町
高知放送局
電八一、八二

趣味の店（ガクブチ　アルバム　文具）
水谷龍文堂
学生さん大歓迎
市内松竹座前

女学生歓迎します！
趣味の店
ゑり幸
高知市オビヤ町二丁目
電話一一二八六番

参考書　雑誌　その他文具　の御用なら
學生さんの梅ケ辻書店
土佐中の方は特に優待！

貯蓄と金融は
高知無盡へ
M
高知市本町118　電話1500（代表）

出席者（順不同敬称略）
安孫子雅行
西原道雄
古味堯
山崎和孝